

段ボールでまもろろ

たくさん運べてつかれにくい！

簡易水タンク

所要時間：40分

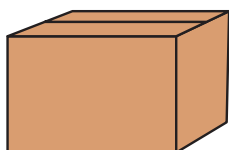


簡易水タンクはこんなときに役立つ

給水車から水を運びたいのに、バケツ等の容器が無い。そんな時は段ボールとゴミぶくろで簡易の水タンクをつくることができます。この段ボール製簡易水タンクは、リュックのように担ぐことができるため、重い水を運ぶときの疲労が軽減されます。水を注ぐ時に便利なじゃ口機能つきです。

必要な材料・工具

段ボール 1箱



厚みが5mm以上のもので、
よりじょうぶそうなものが望ましいです。
(2Lペットボトル×6本入りがおすすめ)



45Lゴミぶくろ 2枚



輪ゴム 2個



タオル(31cm×82cm程度) 2枚



粘着テープ(耐水性のもの)



はさみ



カッター



ボールペンなど書けるもの

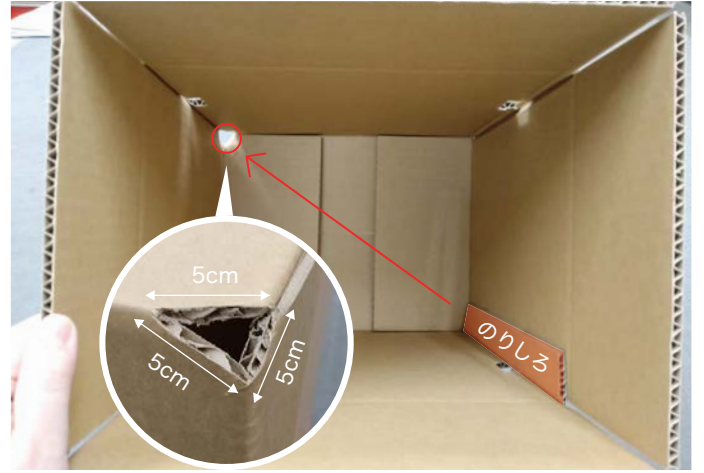
作り方

！ カッターやはさみを使う時は、手を切らないように気をつけましょう ！

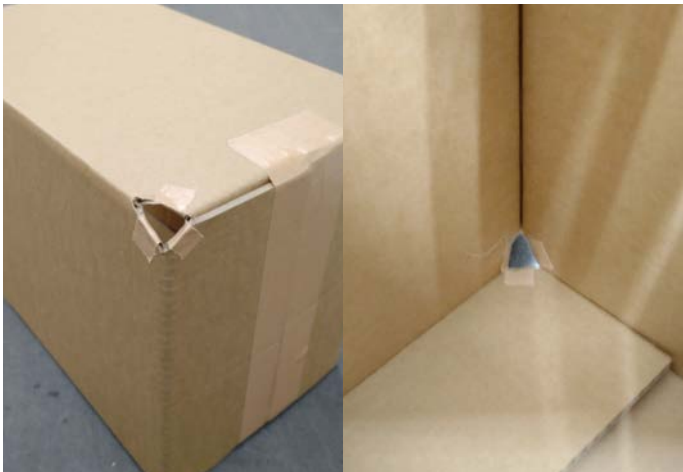
1 段ボールの底面を粘着テープで留めます。



2 のりしろの対角の一か所を写真のように切り取ります。



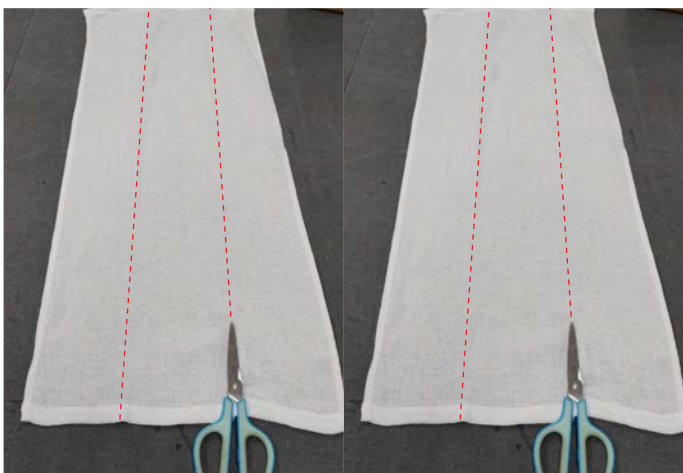
3 ②の切り口を粘着テープで補強します。



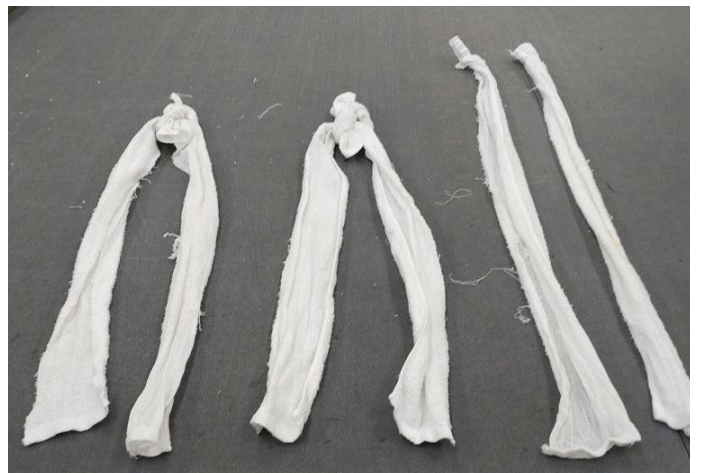
4 段ボールのはばが広い面に、コの字形の切り込みを2か所いれます。裏面も同じように2か所切り込みを入れます。



5 タオル2枚を写真のように縦に3等分し、合計6本にします。



6 ⑤のうち、2本を結んだものを2本用意します。(6本中4本使用)。結びかたは固結びです。



注意！ 背負いひもとなるので、ほどけないようにしっかりと固結びしてください。

7 結んだタオルをコの字形の穴に写真のように通します。



8 残ったタオル2本を各々結び、輪っかにします。背負いひも部分になるので、体の大きさに合わせて長さを調整してください。



9 ふくろを開いて2枚重ねます。



10 2枚の角を重ねて巻き込むように1度結びます。できるだけ先たんで結ぶようにします。



11 ふくろを段ボールに入れ、⑩の結び目を②でつくった穴に通して外に出します。



12 2枚のふくろを箱にかぶせます。



13 ⑫に水を入れ、内側のふくろから順に結んでいきます。

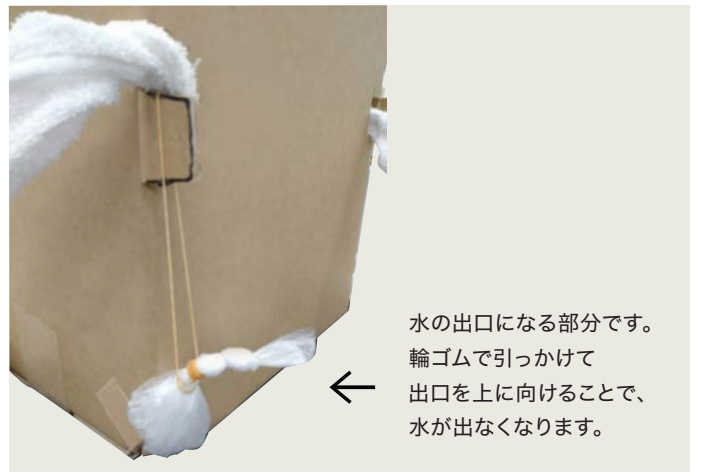


ポイント 水の量は10kg以下(10リットル以下)を目安にしてください。

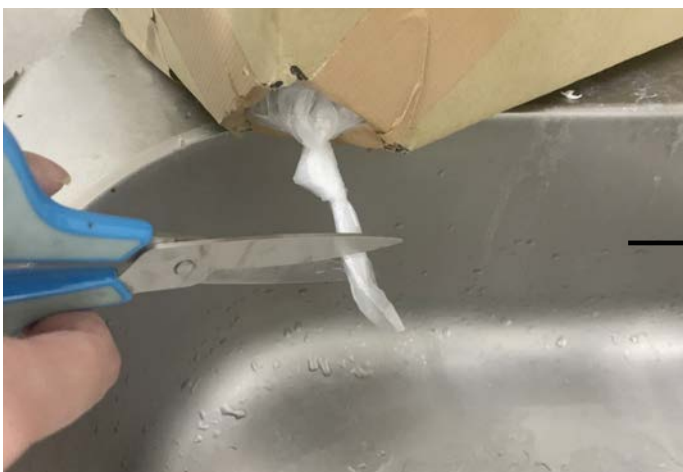
14 ⑪のふくろの結び目の根元を輪ゴムで結びます。



15 ⑭の輪ゴムの根本にもう一本の輪ゴムをかけ、一度ねじり、④で作ったコの字形の出っばりに引っかけます。



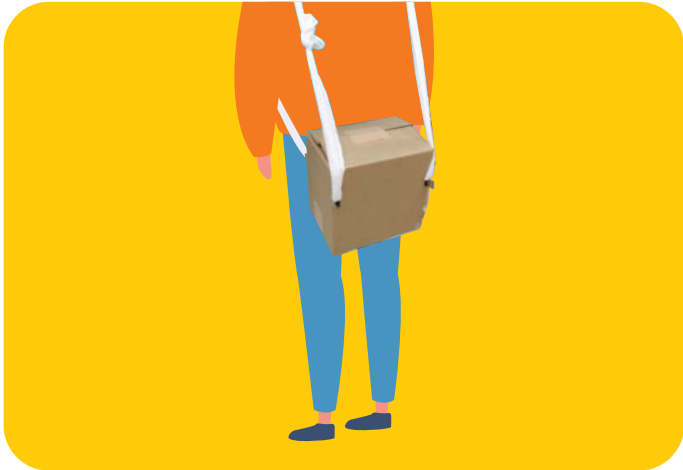
16 輪ゴムを切らないように気を付けながら、結び目より先たん側の位置をはさみで切り、結び目をほどきます。



完成

リュックのように担いで水を運べます。

(必要に応じてタオルを結びなおし、
担ぎやすいように長さを調整してください。)



じゃ口の使い方

水を出すとき

ゴムを全て外すと水が出ます。



水を止めるとき

1本の輪ゴムでぐるぐるに巻いたら、
もう1本の輪ゴムを根元に引っかけて、
コの字形の出っばりに引っかけます。

